Powered by
World Premiere e-Racing

GT7 SGT Series 2026-27 SEASON

統一レギュレーション

1.レギュレーションについて

このGT7SGT Series 2026-27 seasonレギュレーション（以下、当レギュレーション）は2026-27年に開催するGT7SGT Series 2026-27 season（以下、当大会）に参加するすべての選手（以下、参加者）に適応される。

1-1-1 当レギュレーションへの同意

当大会に参加するすべての参加者は、当レギュレーションを熟読したうえ、同意すること。

1-1-2 当レギュレーションの変更について

当レギュレーションは主催者判断により予告なく変更される場合がある。告知は運営Twitter及びDiscordにて行う。

1-2 大会日程

以下の大会日程で、通算ポイントランキング制にて行う。

GT7SGT Series 2026-27 Season Calendar

ラウンド	開催サーキット	レース距離/時間	日付	時刻
第1戦	鈴鹿サーキット	150km	11/8	20:00
第2戦	富士スピードウェイ	90min	11/22	20:00
第3戦	レッドブルリンク	150km	12/6	20:00
第4戦	京都ドライビングパーク	150km	12/20	20:00
第5戦	ニュルブルクリンクGP	150km	1/10	20:00
第6戦	スポーツランド菅生	150km	1/24	20:00
第7戦	オートポリス	90min	2/14	20:00
第8戦	富士スピードウェイ	150km	3/28	20:00

1-3-1 天候について

予選はS01：乾燥した雲のない快晴にて行う。
決勝は決勝開始時点の現地の天候参考にレース開始時点の天候を決定し、以降ランダムとする。ただし、雪の場合は雨として扱う。

1-3-2 天体タイムラプス速度について

天体タイムラプス速度は1倍とする。

2.参加車両について

2-1-1 クラス分け

グランツーリスモ7内の車両を用いて、次の条件により2種類のクラスに分ける。

GT500クラス：Gr.2カテゴリ内の16年モデル車両（GT-R,RC F,NSX）
GT300クラス：運営の指定するGr.3車両（以下参照）
GT3規定扱いとする車両
アストンマーティン V12 ヴァンテージ GT3 '12
メルセデス AMG GT3 '20
コルベット C7 Gr.3
バイパー GT3-R
GT-R ニスモ GT3 '18
M6 GT3 Sprint
RX-VISION GT3 Evo
RC F GT3
R8 LMS Evo
フェラーリ 296 GT3
911 GT3R(992)
NSX Gr.3
650S GT3
ウラカン GT3
R.S.01 GT3
GT300規定扱いとする車両
BRZ GT300 '21　※要相談。BoPが不利になる可能性有
GRスープラ RC
MC規定扱いとする車両
4C Gr.3

2-1-2 クラスの成立台数

各クラスは、以下の台数で実施する
GT500クラス：6台（ただし、日産2台,レクサス2台,ホンダ2台）
GT300クラス：8台

2-2 車両ゼッケン番号

車両ゼッケン番号は、2～999とし、今シーズンに限り使用権が留保される。
0番は前シーズンのGT300チャンピオンチームに、1番は前シーズンのGT500チャンピオンチームにのみ使用権が与えられる。

3.使用タイヤメーカーについて

3-1 タイヤメーカー

参加者は以下のタイヤメーカーから使用するタイヤメーカーを選択する。
・BRIDGESTONE
・DUNLOP
・FALKEN
・HANKOOK
・NITTO
・TOYO TIRE
・YOKOHAMA TIRE
・Continental
・MICHELIN
・Firestone
・GOOD YEAR

3-2 タイヤレターについて
参加者は選択したタイヤメーカーのタイヤレターを、リバリーエディターを用いて設定すること。
違反した場合はペナルティを付与する。

4.参加者の制限について

当大会の参加者に、以下の制限を設ける。

4-1 参加者の資格、コミュニケーションについて
日本語で十分にコミュニケーションがとれる人物。

4-**2** 選手名について
呼称及び開示用としてハンドルネームとPSN IDを運営に提出すること。

4-**3** スポーツマンシップレーティング（**SR**）について
スポーツマンシップレーティング（以下、SR）がSであること。ただし、公式戦に出場しておらず、その他の大会においてS相当のSRを持ち合わせていると主催者が判断した場合、この項目を免除する場合がある。

4-**4** 連絡手段について
当大会において、参加者に対する連絡手段としてDiscordを用いる。参加者はDiscordアカウントを作成し、当大会の運営サーバーに参加すること。

5.参加チームの制限について

当大会に参加できるチームに、以下の制限を設ける。
同一チームで当大会に参加できる出走上限は、全クラス合わせて2台までとする。
ただし、GT500クラスに複数台出走させることはできない。

6.参加方法について

参加するチームの代表者が、Google Formにて必要事項の入力をし、申請すること。

7.性能調整措置について

7-1 GT500車両の性能調整措置
GT500車両の性能調整は以下のとおりとする。
GT-R…621PS 1020kg
RC F…623PS 1020kg
NSX…612PS 1049kg

7-2 GT300車両の性能調整措置
ゲーム内における高速・中速・低速コースBoPによって、各車両に対して性能調整を課す。ただし、著しく有利、および不利な車両に対しては個別に性能調整が入る場合がある。

7-3 シーズン中の性能調整について
Spec4および挙動変更にまつわるアップデートが行われた場合、BoPを変更する場合がある。
現時点で26年12月のSpec4アップデート時にBoP変更を予定している。

8.サクセスウェイトについて

8-1 サクセスウェイトの制定について
本シリーズでは実力の拮抗を図るため、獲得ポイントに応じてサクセスウェイト（通称：SW）を設ける。

8-2-1 サクセスウェイトの搭載量について

サクセスウェイトは、獲得したポイント×3の値の重さを、BoPとは別に車両に積載する。

8-2-2　50kgを超えるサクセスウェイトの搭載方法について
50kgを超えるサクセスウェイトについて、以下のように調整する。
サクセスウエイト50kg～59kg：バラスト+50kg+超過分のウェイト
サクセスウエイト60kg~69kg：バラスト+50kg+リストリクター1%+超過分のウェイト
サクセスウエイト70kg~79kg：バラスト+50kg+リストリクター2%+超過分のウェイト
サクセスウエイト80kg~89kg：バラスト+50kg+リストリクター3%+超過分のウェイト
サクセスウエイト90kg~99kg：バラスト+50kg+リストリクター4%+超過分のウェイト
サクセスウエイト100kg： バラスト+50kg +リストリクター 5%

8-3　サクセスウェイト搭載位置について
サクセスウェイトの搭載位置は車両中央（0）とする。

8-4　サクセスウェイトの軽減について
参戦数によってサクセスウェイトの軽減を行う。
参戦数が4~6戦…獲得ポイントの×2のウェイトを積載する（小数点切り上げ）。
参戦数が7戦…獲得ポイントの×1のウェイトを積載する。
参戦数が8戦…サクセスウェイトを免除する。

9.各チームにおけるドライバーの登録人数、およびドライバー変更、スポット参戦について

9-1-1　1シーズンにおけるドライバーの登録人数について
当大会に参加するチームは、シーズン参加申請時に、1台の車両に対し最小2名、最大3名のドライバーを第1ドライバー、第2ドライバー、第3ドライバーとして登録できる。

9-1-2　登録ドライバーの出場義務について
参加申請時に登録したドライバーは、必ずシーズン中のいずれかのラウンド1戦に参戦すること。参加しない場合、後述25-2にてシーズン獲得ポイント半減のペナルティを付与する。

9-2　登録ドライバーの変更について
8-1において登録したドライバーは、シーズン終了まで変更することができない。ただし、やむを得ない場合は主催者に申請することにより、変更を認められる場合がある。

9-3　スポット参戦のドライバーについて
当大会に参加するチームは、登録しているドライバーに代わり、スポット参戦のドライバーを1回のみ起用することができる。その場合、該当のドライバーが出走予定のレース開催日の3日前までに主催者に連絡すること。

9-4　各セッションに参加するドライバーについて
予選、および決勝の各セッションに参加できるドライバーは1台につき1人までである。

10.タイヤコンパウンド使用規定

当大会において使用するタイヤのコンパウンドは、レーシングハード、ミディアム、ソフト、インターミディエイト、ウェットの5種類とする。

11.ゼッケンの種類、位置について

11-1　規定ゼッケンについて

各車両は既定のゼッケンを、車両左右側面およびボンネット向かって左側に張り付けること。またリア用ゼッケンを車両後方に装着すること。なお運営によって振り分けられた番号のゼッケンを装着すること。詳細は別途定める。

11-2 ライトカバーについて
GT500クラスはライトカバーを白色に、GT300クラスは黄色に設定すること。

12.ドライバーの遵守事項

12-1 ドライバーのマナーについて
すべてのドライバーは、一般的なレーシングマナーを遵守すること。マナーの内容に関しては膨大な文量となるため割愛する。基本的にグランツーリスモユーザー間で形成されているマナーに加え、実際のSUPER GTなどのマナーを参照する。
※以下SUPER GT レギュレーションより抜粋
（1） 基本的に同一周回で競う車両は、先行する車両に優先権がある。
（2） 方向指示器（フラッシャーランプ）の使用方法は、自分が行きたい方向を示す。
（3） GT300車両は、常にGT500車両が後方より急速に近づくことを想定し、後方確認を怠らない。
（4） GT500車両は、GT300車両が避けてくれないことを原則として走ること（GT300への配慮）。
（5） 基本的に同一周回車両同士で順位を争うこと（ピットイン・タイミングにおける周回違いを除く）。
(4) 補足事項
基本的には、ラインの優先権はGT300車両にある。GT500車両は、GT300車両をパスする時は、GT300車両に過失が無い限りGT500車両に全責任がある。

12-2 セッション中のチャットについて
セッション中は連絡事項を除き、ゲーム内チャットを使用しないこと。

13.スタートバグについて

スタートバグによるセッションのやり直しは予選決勝共に1回までとする。スタートバグにより出走できなかった参加者はリタイア扱いとする。速やかにエントリー解除を行うこと。

14.公式予選について

14-1 公式予選の基本設定について
予選機能を用いて10分間で行う
～レースの設定～
・ブースト：なし
・スリップストリームの強さ：リアル
・車両の破損表現：オン
・メカニカルダメージ：強い
・タイヤの消耗：1倍
・燃料の消耗：1倍
・初期燃料の搭載量：12L
・雨・コース外でのグリップ低下：リアル
～レギュレーションの設定～
・セッティング：自由
～ペナルティ設定～
・レース中のゴースト化：なし
・ショートカットペナルティ：弱い

・壁接触ペナルティ:なし
・コースアウト時のクルマの置き直し:なし
・ホワイトラインカットペナルティ:オン
・フラッグルール:オフ
・周回遅れのゴースト化:オフ
～ドライビングオプション～
・カウンターステアアシスト:使用禁止
・スタビリティ・マネジメント:使用禁止
・走行ラインアシスト:無制限
・トラクション・コントロール:無制限
・ABS:無制限
・オートドライブ:使用禁止

14-2 予選のクラス分け及び実施順について
予選はGT300クラス、GT500クラス別々に行い、GT300クラス→GT500クラスの順に行う。

14-3 予選の特別ルールについて
予選セッションが開始された後は、いかなる理由があってもピットに戻らないこと。

14-4 予選セッションの放棄について
マシンダメージ等によってセッションを放棄する場合はエントリーを解除すること。

14-5 予選セッション中の中断について
回線状況、および主催者の判断により、セッションが中断する場合がある。その際、再度予選を行うか、予選を中止するかは主催者が判断する。

14-6 予選の中止について
何らかの理由で予選が実施できないと主催者が判断した場合、予選を中止することがある。その場合、スタートグリッドは前戦の決勝の結果を参照する。開幕戦の場合は、エントリー順でグリッドを設定する。

14-7 予選使用時のタイヤについて
予選で使用したタイヤを、決勝のスタートタイヤとして使用すること。
例）予選でレーシングソフトを使用→決勝のスタートタイヤとしてレーシングソフトを選択する。
違反した場合はペナルティを付与する。

14-8 予選不出走時のタイヤについて
予選に参加しなかった場合、スタートタイヤは運営側がくじ引きで決定する。

14-9 雨天セッション時のタイヤについて
決勝にて雨が降った場合、路面コンディションを見たうえでウェット状態を運営が宣言する。この場合、予選で使用したタイヤを決勝のスタートタイヤに指定する義務はなくなる。

15.決勝レースのルーム設定について
決勝時のルーム設定は、以下の通りである。
～レースの設定～
・スタート方式:グリッドスタート
・グリッドソート:ホスト指定（GT500のタイム順→GT300のタイム順）
・ブースト:なし
・スリップストリームの強さ:リアル
・車両の破損表現:オン

・メカニカルダメージ：強い
・タイヤの消耗：3~5倍
・燃料の消耗：3倍
・搭載初期燃料：100L
・給油量：4L/秒
・雨・コース外でのグリップ低下：リアル
～レギュレーションの設定～
・セッティング：自由
～ペナルティ設定～
・レース中のゴースト化：なし
・ショートカットペナルティ：弱い
・壁接触ペナルティ：なし
・ホワイトラインカットペナルティ：オン
・コースアウト時のクルマの置き直し：なし
・フラッグルール：オン
・周回遅れのゴースト化：オフ
～ドライビングオプション～
・カウンターステアアシスト：使用禁止
・スタビリティ・マネジメント：使用禁止
・走行ラインアシスト：無制限
・トラクション・コントロール：無制限
・ABS：無制限
・オートドライブ：使用禁止

※タイヤ倍率については別途各ラウンドの特別規則書で規定する。

16.スタートについて

16-1 採用するスタート方式ついて

当大会にて、スタート方式はローリングスタート方式が採用される。なお、GT500、GT300の2グループに分けて行う。

16-2 フォーメーションラップ前の待機時間について

参加者はGT7のシステム上で決勝が開始されたのち、スタートバグが発生していないかを確認してから5分間グリッド上で待機すること。この際、スタートバグの有無を確認する以外は静止状態であること。

16-3-1 フォーメーションラップの開始について

運営から「（クラス名）FL」のチャットがなされると、該当のクラスはフォーメーションラップを行う。フォーメーションラップ中はスタート練習、著しく隊列を乱すことや追い越しを禁止する。また、1列縦隊で走行すること。違反があった場合には、罰則がせられる。

16-3-2 フォーメーションラップ中のスピンについて

フォーメーションラップ中にスピン等があり、隊列から外れてしまった場合は、各クラスの最後尾についてスタートすること。

16-3-3 フォーメーションラップの目安速度について

フォーメーションラップの目安の速度は約120km/hである。著しく外れた速度で走行を続けた場合はペナルティの対象となる場合がある。

16-3-4 フォーメーションラップの終了について

フォーメーションラップは、各サーキット指定の場所で終了するものとする。
その後、競技車両は各グループの先頭車両の先導で、最低速度70km/h、最高速度約90km/h

にてそのまま走行を続けること。

16-3-5 フォーメーションラップの車間距離について
フォーメーションラップ中は最低でも2車間以上の車間距離を取ること。これを下回る車間距離で走行を続けた場合、ペナルティとなる場合がある。

16-4 フォーメーションラップ終了後の隊列について
フォーメーションラップが終了した後の隊列は、イン側にグリッド奇数車両、アウト側にグリッド偶数車両が2列縦隊で整列すること。この時、前後半車身の間隔をあけること。なおかつグリッド上から左右にはみ出してはならない。

16-5 スタートのタイミングについて
スタートのタイミングは各クラス先頭車両に委ねられる。運営指定の範囲内で加速し、後続はこれに続く。グリッド先頭のホワイトラインを通過するまではグリッド上を走行し、同じ列にいる前方の車両を追い越すことを禁止する。ただし、何らかのトラブルで前方車両が加速できていないと判断した場合はグリッドを外れて追い越すことができる。
グリッド先頭のホワイトラインを通過レースが開始され、ラインの切り替え、および追い越しが許可される。

17.ドライバーの最大運転時間とピットストップ義務について

各ドライバーは、自車のレースにおける周回数（フォーメーションラップは含まない）で換算して、運営が指定する周回数に必ずピットに入ること。なお、この義務を消化する際のピット作業の内容は問わない。
なお、運営の指定する周回数の範囲はノーピットで2/3とならない範囲である。

18.ペナルティの履行について

全インシデントをレース中リアルタイムで確認できない関係上、レース中のペナルティの履行は行わない。その代替措置として、レース結果にタイム加算する形でペナルティを履行する。

19.強制リタイア、および順位認定について

19-1 強制リタイアについて
以下の事案が発生した場合強制リタイアとする。
・車両にエンジンダメージが入った場合
・搭載していた燃料が空になった場合（惰性でピットに戻れた場合、もしくはコントロールラインを通過してチェッカーを受けた場合は免除）
その場で静止した状態でゲーム内チャットを用いて主催者に申し出ること。主催者が確認次第、エントリー解除を行うこと。

19-2 順位認定について
走行周回数が各クラスの優勝車両の70%（端数切捨て）に達していない車両は、順位の認定を受けられない。

20.決勝レース中のセーフティーカー（以下、SC）運用について

主催者判断により、レースを非競技化するためにSCが使用される場合がある。

20-1 SC導入の合図について
SCが導入される場合、主催者がゲーム内チャットにて「SC」と発言をする。この発言をもって、

SCの導入を行う。

20-2 SC導入までの流れについて
1度目の「SC」の宣言がなされたら、即追い越し禁止になる。その後10秒後を目安に2回目の「SC」の発言、そのあとすぐに3回目の「SC」を行うため、GT500クラスの先頭車両は80km/hに、他の車両は180km/hまで速度を落とす。GT500クラスの先頭車両は全車が後ろに着くまで80km/hでレースをコントロールし、他の車両は最大180km/hでこれに追いつくこと。追いつき次第、先頭のペースに従うこと。運営の指示がない限り、ペースの基準は120km/hである。なお、隊列は1列縦隊とする。

20-3 SC中の整列について
SC宣言の後全車先頭車両に追いついた時点で、チャットにて「整列」と発言する。次のホームストレート上のグリッド先頭で、イン側GT500の先頭車両、アウト側GT300の先頭車両は停止すること。その後、運営の指示でGT500、GT300の順にSCを再開する。

20-4 SC中のピットインについて
SC中のピットインは、一切認めない。ピットインした場合、罰則を科す。

20-5 SC中のスピン、危険運転について
SC中にスピン等があり隊列を離れた場合、最後尾に回ること。また、SC中のスピン、危険運転については厳重に処罰する。

20-6 SC解除の合図について
SCが解除される場合、解除される周回数中に主催者が「SC解除」のチャットを行う。

20-7 SC解除からレース再開までの流れについて
SC解除の宣言がなされた場合最終セクターでレース再開をGT500クラスの先頭車両に引き渡す。GT500車両はコントロールラインを通過するまでに好きなタイミングで加速し、レースを再開させること。ただし、コントロールライン通過までは、前走車がスピン等により著しく隊列などを離れる例外を除き、追い越し禁止である。GT300車両はこれに続くこと。

20-8 SC中の車間距離について
SC中は最低でも2車間以上の車間距離を取ること。これを下回る車間距離で走行を続けた場合、ペナルティとなる場合がある。

21.レースの中断、およびレースの再開について

21-1 レースの中断について
回線状況により、レースが中断する場合がある。

21-2 レース再開について
レースが中断される前の周の順位を参考に1列縦隊で整列し、SC先導のもとレースを再開する。スタート手順は19-7と同じものとする。なお、部屋の設定上、燃料は100%および周回数は中断した翌周の残り周回数を適用する。また、タイヤコンパウンドの変更は禁止する。

21-3 レース終了について
主催者がレース続行不可能と判断した場合、レースを強制的に終了する場合がある。このとき、当レギュレーション14条で定めた項目は適用外とする。また、順位は強制的に終了した前の周回数のもの適用する。

21-4 レースの最大延長時間について

レースの最大延長時間は、フォーメーションラップが開始されてから中断も含め90分間とする。運営より「ファイナルラップ」と宣言された後、GT500の先頭車両がコントロールラインを通過するとチェッカーとなる。

22.車検について

22-1 車検の実施

ゲーム内設定でBoP設定ができず、かつ正しく馬力および車重のセッティングがなされているか確認ができないため、予選および決勝終了後別途車検を実施する。

22-2 車検の提出方法について

車検はビデオクリップを使用して行う。

必要な動画クリップは以下のとおりである。

【予選】

以下の3種類のうち1つを選択する。

①エントリーの後セッティング画面を開き、タイヤからボディワークの項目まで閲覧し た後、そのままセッションが開始され、セッション終了の後ロビーに戻ってくるまで

②予選チェッカーを受けた際のオートドライブ中のリザルト画面、もしくは時間切れに よるセッション終了からロビーに戻った後、セッティング画面を開き、タイヤからボ ディワークの項目が閲覧されるまで

③①もしくは②の条件を満たす配信アーカイブ

①②を選択した場合は該当クリップを運営指定の場所に提出する。③の場合はアーカイ ブで提出の旨を申告すること。

【決勝】

以下の3種類のうち1つを選択する。

①エントリーの後セッティング画面を開き、タイヤからボディワークの項目まで閲覧し た後、そのままセッションが開始され、セッション終了の後ロビーに戻ってくるまで

②ドライバーと車両が写ったリザルト画面からロビーに戻った後、セッティング画面を 開き、タイヤからボディワークの項目が閲覧されるまで

③①もしくは②の条件を満たす配信アーカイブ

①②を選択した場合は該当クリップを運営指定の場所に提出する。③の場合はアーカイ ブで提出の旨を申告すること。

23.審議および抗議の問い合わせについて

レース中の接触等、審議してほしい事項がある場合、決勝レース終了後15分以内に主催者Discordに該当周回数と、審議してほしい内容を記載し、送信すること。

24.リプレイの提出について

参加者は決勝レースのリプレイを保存し、公開すること。その際、タイトルとタグに「GT7SGT」を記載すること。提出がなされない場合、審議対象となった際に不利になる場合がある。また複数回提出がなされない場合はペナルティを付与する場合がある。

25.シリーズポイント基準について

運営に参加申請を行い、正式に参加受理されたドライバーとチームに対し、大会毎に定めたポイントを付与し、ポイント数に従って当レギュレーション第2条に規定するクラス別にシリーズ順

位を決定する。

25-1 予選順位によるポイント
シリーズ戦の一戦として認定された各レースにおいて、予選にて順位認定された上位チームに与えるポイントは次のとおりとする。

1位	2位	3位
3	2	1

25-2 決勝レースの順位によるポイント
シリーズ戦の一戦として認定された各レースにおいて、完走し順位認定された上位チームに与えるポイントは次のとおりとする。

1位	2位	3位	4位	5位
15	10	6	3	1

25-3 予定周回数を行わず、レース終了した際のポイントについて
予定周回数を行わず、レース終了した際のポイントについて、以下のように規定する。
消化した周回数が2/3未満→シリーズポイントの半分
消化した周回数が2/3以上→シリーズポイントの全て

25-4 シリーズポイントの減算について
予定されている全シリーズ戦の日程を消化した際、チーム出走数が2/3以下、もしくは登録ドライバーが最低1回の参戦がない場合、獲得ポイントの半分を、最終的なシリーズポイントとして適用する。

25-5 シリーズ順位の決定について
24-5-1 全戦の獲得ポイントを集計し、最も獲得ポイントの多いチームをシリーズチャンピオンとする。
24-5-2 複数のチームが同点の場合、以下の方法で決定する
①1位の回数が一番多いもの
②1位の回数が同数の場合、2位の回数が一番多いものとして、それでも決まらない場合、同様の方法で差が付くまで続ける
③以上の方法で順位決定が難しい場合は、最終戦の順位を基に主催者が決定する。

26.モラルハザード

26-1 モラルハザードポイントについて
参加者でモラルに反する行為が見られた場合モラルハザードポイント（通称：MH）を科す。加算するポイント数は運営にて判断する。

26-2 モラルハザードポイントの有効期限について
モラルハザードポイントは次シーズンの同ラウンド数まで累積する。

26-3 モラルハザードポイントの累積について
チームで加算されたモラルハザードポイントの累積ポイント数が一定の値に達した場合、以下のペナルティを与える。
5pt…次戦予選出場停止
8pt,12pt…次戦出場停止
15pt…以降の全戦出場停止。また運営にて追加処分の有無を決定する。

27.競技細則

各大会における競技細則については、各大会特別規則に基づいて運営される。

28.行動規範

全ての参加者は運営チーム、関係者、報道者、他の参加者、観客やファン等に配慮した態度で行動することが求められる。
参加者はいかなる時も自己の誠実性の最高基準を保ち、スポーツマンシップに則って行動しなければならない。また参加者は、運営チーム、関係者、他の参加者、観客やファン等とのコミュニケーションにおいてスポーツマンらしい礼節をわきまえて接することが求められる。

28-1 不正行為

参加者は、いかなる時も全力で取り組むことが求められる。いかなる参加者によるいかなるチート行為は禁止する。
試合の結果が参加者の真価のみに基づいて決定されるよう、全ての参加者は試合に影響を及ぼしたり、試合を操作したりするような行為は禁じる。

28-2 意図的な回線切断

参加者は、通信障害等の回復目的以外で、ゲームから意図的に接続を切断する行為やその勧誘をしてはならない。

28-3 中傷禁止

参加者は、スポーツマンシップに則ったマナーで自身の意見を表現する権利を常に有する。争いや参加者による違反は情報が公に開示される前に必ず運営チームによる調査が行われなければならない。参加者はいかなる場合でも運営チーム、関係者、PS4 を含む
その製品やサービス等について虚偽、中傷的、名誉毀損、侮辱的、軽蔑的な批評、コメント、または発言を投稿、公表し、他人、他企業またはソーシャルメディアに発信することは禁じられている。法律が要求する範囲を超えない限り、本セクションはいかなる場合でも、関連する法律や管轄裁判所、または公認の政府機関の有効な命令を参加者が遵守することを制限・妨げるものではない。

28-4 道徳的規範

参加者は当大会に参加している全ての個人と運営チームに対し、敬意を払って接することが求められる。参加者は当大会に関連して、非常識、無礼、下品、侮辱的、暴力的、脅迫、嘲笑的、破壊的、敵意が感じられる、口汚い、誹謗中傷的、またはその他不適
切な行為や発言、ならびに嫌悪や差別を促進または扇動する行為や発言を固く禁じる。参加者はこれらの禁じられたコミュニケーションを投稿、送信、発信、その他いかなる手段でも公に表現するために、運営チームやその関係者が提供する施設、サービスまたは機器を使用してはならない。

29.コンテンツの作成

当大会では、録音、録画、インターネット配信等を行う。また、運営チームは参加者に対し、参加者の写真の提供を依頼することがある。

30.スポット参戦について

30-1 スポット参戦枠について

シリーズエントリーおよび各ラウンドエントリーが満枠に満たない場合、スポット参戦を設ける場

合がある。スポット参戦を受け付ける場合、開催日の3日前からエントリーフォームを開き、エントリーを募る。

30-2 GT500クラスへのスポット参戦時の制限について
GT500クラスにスポット参戦する場合、車両メーカーは主催者が指定し、参加者が指定することはできない。

30-3 スポット参戦車両のサクセスウェイトについて
スポット参戦する車両のサクセスウェイトは、全車の搭載ウェイトの平均とする。

30-4 スポット参戦枠のポイントについて
スポット参戦をする車両には、ポイントは付与しない。

31.特別規則書について

31-1 特別規則書について
各ラウンドにおいて、運営が特別規則書を発行する場合がある。

31-2 特別規則書の効力について
特別規則書で規定された内容は直ちにそのラウンド中に効力を発揮し、統一レギュレーションよりも優先される。

以上

2026.10.18制定